



明けましておめでとうございます。
本年もどうぞみつばち大磯をよろしくお願い致します。



↑ ホトトギス(箱根)

中郡大磯町生沢 491
TEL:0463-72-5329
FAX:0463-72-5472
発行管理者:園田彩夏
文責:添田正直

職員の自己紹介

今回は職員の熊澤敏明(くまざわとしあき)さんをご紹介します。

2022年10月に入職し、介護福祉士の資格をお持ちです。介護の仕事に就(つ)く前は、銀行員、整体師、日産工場の補修工事の現場監督(げんぱかんとく)、受水槽(じゅすいそう)の清掃員(せいそういん)などさまざまな仕事を経験してきました。現在は、妻と息子2人、両親、弟の大家族で生活しています。

みつばちでの担当業務は、現在は仕事を覚えるため、ルッコラ、トマト、葉物(はもの)の順番で利用者さんの支援をしながら農業を学んでいます。

利用者さんと接する上で気を付けていることは、いつも笑顔(えがお)で楽しく、そして、責任感(せきにんかん)を持って利用者さんと仕事をするように心がけています。また、皆さんの体調の変化にも気を付け、協力してよい成果(せいこ)が出るよう努(つと)めています。

皆さんに一言「困っていることや、悩(なや)んでいることがあれば、いつでも気軽に相談してください。お互(たが)いに理解(りかい)しあいながら、充実した働く場にしたいと考えています。」

日本農業新聞(JAの日刊新聞)に掲載されました

日本農業新聞

2022年(令和4年)11月12日(土曜日)

同法人は2011年に設立した。当初3人だった利用者は30人にまで増え、ルッコラやパクチー、トマトなどを5棟、計40坪の温室で栽培。定植や収穫、袋詰めなどに取り組み、同町月京のJA湘南「磯子直売所」や県内の市場、スーパーなど20カ所以上に通年で出荷している。

効率的に農作業を行ってもらおうと、設備の充実にも力を注ぐ。添田理事長は、同法人の設立前、野菜の水耕・点滴栽培装置の開発・販売会社を経営。その際のノウハウを生かして開発した自動の点滴かん水装置を温室内に設置し、昨年2月には農水省の補助金を活用して自動の計量装置も導入した。それまで6人で行っていた計量作業が4人

農業通じ

大磯町生沢の特定非営利活動法人「ソーシャルファーム大磯」は、農業を通じて知的・精神的障がい者の自立支援に力を入れている。同法人の添田正直理事長は、農作業環境の整備で、高い生産性を実現。県内の福祉作業所の中で、利用者の平均月給はトップクラスで、障がい者の働き場を提供する取り組みが成果を挙げている。

ソーシャルファーム大磯

障がい者に働く場提供

B型に該当する県内の福祉作業所の平均額、約1万5000円を大きく上回っている。今年3月には、さらなる収入増大を目指し、キュウリ栽培用の温室も新設。規模拡大を図っている。「自分のお金で家族へのプレゼントを買った」という声も聞かれるなど、利用者のやりがいにつながっている。

添田理事長は「働くことは人の役に立ち、生きるために必要なこと。今後も農業を通じて、利用者の経済的、精神的な自立をサポートしていきたい」と力強く話す。

(湘南)

自立支援

21年に同法人が利用者に支払った平均月給は、毎月約4万5000円。就労継続支援で済み、コロナ下での密環境の改善と省力化につながった。



ルッコラを収穫する利用者

ミツバチ活動開始

今年もイチゴハウスにて、ミツバチが活動する季節となりました。

11月30日にハウスに入れ、活動開始。

寒いと出てこないの、あたたかい日にハウス内を飛び回っています。

みつばちの活動のおかげで、おいしいイチゴができます。いちごの品種は「とちおとめ」です。

真っ赤でおいしいイチゴができるのが楽しみです。



↑ 巣箱から出入りするミツバチ
(イチゴハウスにて)

ご報告

2022年11月の売上は871,002円。直近の1年間の売上は平均1,217,042円/月。11月の工賃は980,000円でした。(売上の3分の2を利用者さんに分配)

もちつき

12月恒例(こうれい)の「もちつき」の時期がやってきました。前日の14日の午後から準備をはじめ、晴天の中、15日にもちつきを行いました。ファームで収穫されたモチ米を使いました。

また、差し入れとしてパートさんよりぬか漬け、西田さんよりはやとうりをいただきました。

もちの味付けとして、納豆、つづあん、こしあん、きなこと、大根おろし、のり、先日おいそ学園より頂いた梅干を刻んでしょう油の中に入れたものを用意しました。お土産(みやげ)のおもちもあり、皆さんうれしそうです。

「やりすぎて筋肉痛」「意外と大変だった。慣れない作業で疲れた。」「楽しかった」「食べすぎた」との感想がありました。

利用者さんはもちつきを楽しそうにやっていました。

筋肉痛になりませんでしたでしょうか。

大変お疲れさまでした。

次回、2023年最初は1月12日で、ハヤシライスになります。

担当は仲手川さんと園田です。お楽しみに！！



生き物担当当番係

みつばち大磯ではシクラメンの花の鉢がルッコラとトマトの休養室に各1鉢あり、水やりをトマト室は伊東さん、ルッコラ室は藤谷さんがしてくれていやされています。

動物はメダカとにわとりのうこっけい3羽(オス1羽、メス2羽)の世話を伊藤君がしてくれています。

メダカはエサを夏は毎日、冬は週に1回与え、にわとりには水とエサを毎日やります。

にわとりはメダカと逆に冬の寒いときは寒さに負けないよう多めに夏は少なめに与えます。

伊藤君は、にわとりの世話は楽しいと言っており、楽しそうにエサ作りをしていました。添田さんに聞いたら、初めの頃は忘れることもあったけど、最近はちゃんとできていると言ってました。

シクラメンの水やりを担当している伊東さんは、水をちゃんとあげられているか不安だけど、元気に育ってほしい思いでやっているそうです。

藤谷さんは、水やりは週3回(月・水・金)やっていて、砂の様子を見ながら、やりすぎに注意してやっているそうです。



春のハイキング

2月4日(土)

静岡県愛鷹山(あしたかやま)に行きます。

富士山の南側の山で、真っ白な富士山の絶景がすごい所です。

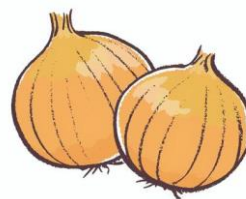


玉ねぎの定植

トマトの作業室隣の畑でたまねぎの定植を行いました。JA直売所から購入した苗と伊藤君のおじいさんにいただいた苗200本を2cmくらい割りばしで穴を開けて、根を少し切って白い部分を少し残して定植しました。

やってみての感想として「いいんじゃないかと思う。中腰の作業でしたが痛くならなかった。」そうです。玉ねぎは来年の5月中旬から6月に収穫時期を迎えます。

できるのが楽しみです。



↑玉ねぎの苗



出勤日のお知らせ

年始は1月4日(水)からの出勤となります。

9日(月)の成人の日と14日、21日、28日の土曜日は午前からの出勤となります。

12日(木)は、ハヤシライスの日です。

1月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				